

市民と市外からの来訪者による地域に対する愛着や評価の違い

ー釜石市住民意識調査と釜石市観光来訪調査を比較してー

○大杉尚也¹・上市秀雄²

¹筑波大学大学院システム情報工学研究群・²筑波大学システム情報系

s2630150@u.tsukuba.ac.jp

背景

- ◆地域活性化の鍵として、地域と持続的に関わりを持つ「関係人口（定住人口でも交流人口でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人）」の創出が重視（作野，2019）。関係人口創出の重要な要素が、「地域に対する愛着」の醸成。
- ◆岩手県釜石市では、東日本大震災からの復興において、観光を起点とした持続可能な地域づくりを推進。来訪者が訪れたくなる地域を目指すだけでなく、市民が住み続けたいと思える地域を目指している。

課題

室町・大杉・上市（2025）では、市民の地域への評価が、地域への所属感を高め、地域愛着を醸成することが判明。その一方で、来訪者に対する地域愛着と地域評価の関係を明らかにできていない。

目的

地域愛着と地域評価に対し、釜石市観光来訪調査結果と住民意識調査結果の回答結果を比較
⇒市民から見る地域と、市外からの来訪者から見る地域に、地域に対する愛着や評価にどのような違いがあるかを分析

方法

調査対象	岩手県釜石市への観光客
調査期間	2025年10月1日から2025年11月30日
調査場所	岩手県釜石市内観光施設3施設
調査方法	自記式アンケート調査票を設置・回収
調査参加者	20代から80歳以上の115名 （男性71名、女性44名）
分析対象者数	92名（完全回答者）
実施主体	株式会社かまいしDMC

比較対象/比較方法

- ◆株式会社かまいしDMC（釜石市委託事業）が2024年に実施した、住民意識調査の調査結果（回答者303名）
- ◆住民意識調査と観光来訪調査における、地域愛着に関する質問「自分にとって、釜石はなくてはならない場所である」と、地域評価に関する質問「釜石は、観光によってにぎわいが生じている」への回答割合を比較

調査内容

- ◆回答者属性（年齢、居住地等），釜石市への来訪目的や来訪目当て，来訪のきっかけといった来訪情報，地域愛着や地域評価を測定する質問項目で構成
- ◆地域愛着や地域評価を測定する質問項目は，室町・大杉・上市（2025）で設定した釜石市住民意識調査項目のうち，来訪者向け調査の項目として使用できる項目「地域愛着」「釜石の街並み評価」「地域への所属感」等を使用
- ◆各質問に対する尺度は，「まったくそう思わない」から「とてもそう思う」までの5段階尺度で設定

地域評価と地域愛着に関する質問項目

- 地域評価（観光振興の効果の実感）：
 - ・5項目「釜石は，観光によってにぎわいが生じている」など
- 地域愛着：
 - ・5項目「自分にとって，釜石はなくてはならない場所である」など

結果・考察

① 来訪者の地域評価は，市民の地域評価より高い

【考えられる要因】

来訪者と市民では，地域に対する評価の視点が異なる

- 来訪者は，にぎわいがある観光スポットを中心に評価
- 市民は，一時的なにぎわいでなく，地域全体のにぎわいを評価

② 地域愛着には，市民と来訪者に大きな差は見られなかった

【考えられる要因】

地域評価だけが地域愛着に影響を与えるのではなく，個人属性やこれまでの経験，来訪に際し求めることなども影響を与える

③ 来訪回数が多い方は，地域愛着が高い

【考えられる要因】

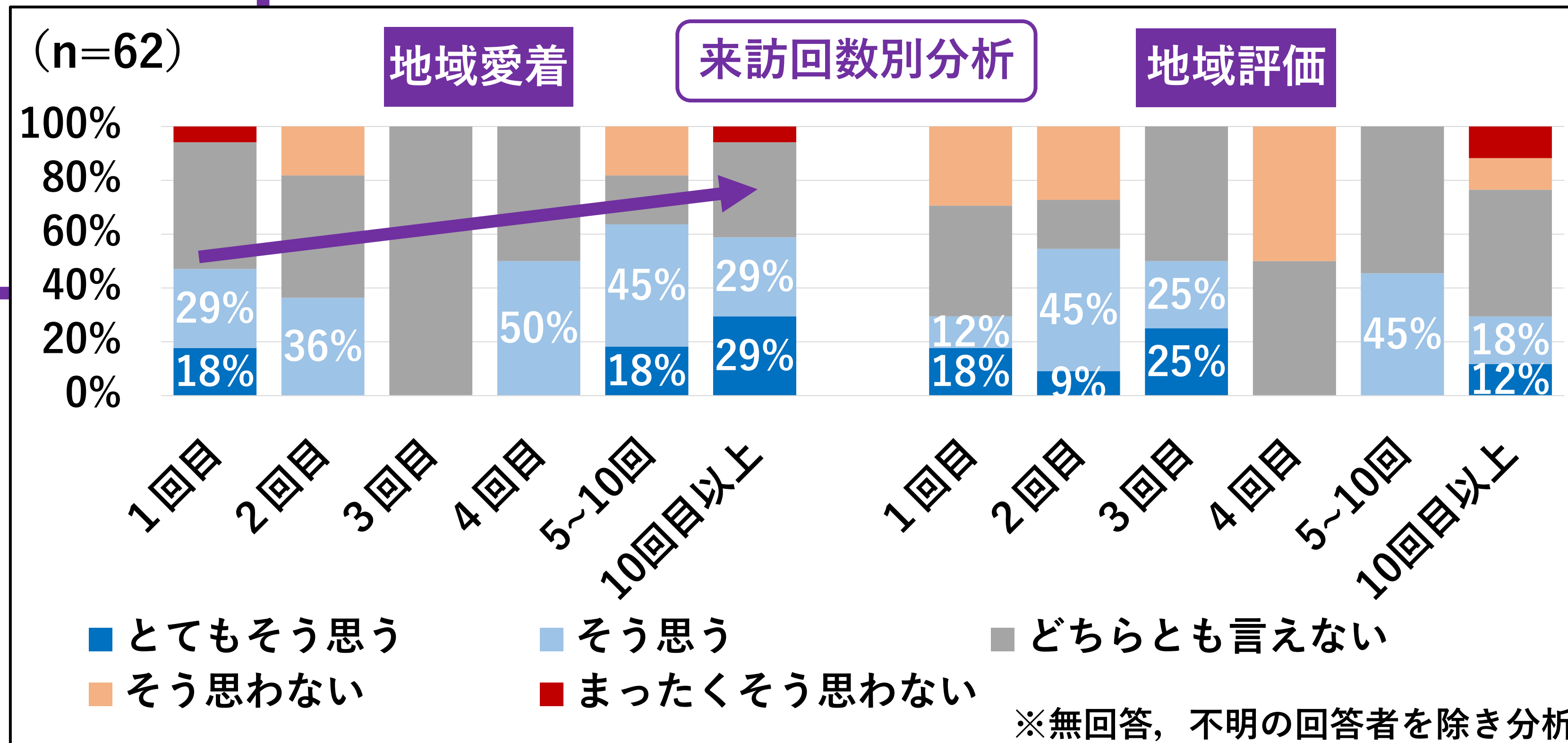
訪れるたびに，地域の方との交流や地域の歴史文化に触れる頻度が高まり，自身にとって大切な場所になっていく

- 地域評価については，訪れるたびに，観光スポットだけでなく，地域全体のにぎわいも評価していくため低下

表1 市民と来訪者の地域評価および地域愛着の比較

分析結果 (n=92)	【地域評価】 釜石は，観光によって にぎわいが生じている		【地域愛着】 自分にとって，釜石はなくてはならない場所である	
	住民 意識調査	観光 来訪調査	住民 意識調査	観光 来訪調査
とてもそう思う	0.7%	12.0%	10.2%	22.8%
そう思う	7.3%	27.2%	40.3%	29.3%
どちらともいえない	32.7%	45.7%	30.7%	39.1%
そう思わない	38.3%	13.0%	11.2%	5.4%
まったくそう思わない	21.1%	2.2%	7.6%	3.3%

図1 来訪回数による来訪者の地域愛着と地域評価の比較



参考文献

- ◆作野広和(2019).人口減少社会における関係人口の意義と可能性.経済地理学年報. 65,PP.10-28.
- ◆室町祐輔・大杉尚也・上市秀雄(2025).地域に対する住民の意識が地域愛着度と観光への関わり意欲に与える影響：地域への所属感と地域評価，観光振興に着目して.日本心理学会第89回大会発表論文集.2A-064-PI.
- ◆株式会社かまいしDMC(2024).観光振興と交流人口の拡大による住みよいまちづくりに向けた地域に対する住民意識調査 株式会社かまいし各種調査結果 Retrieved April 30, 2026, from <https://kamaishi-dmc.com/document/>